

「誰一人取り残さない」

社会の実現のために：

心理学者が考える「持続可能な開発目標(SDGs)」



企画
柿本 敏克
(群馬大学)

「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現のため、2015年の国連サミットで「持続可能な開発目標(SDGs)」という考え方が打ち出されました。貧困の解消、不平等の是正、気候変動対策などを含む17の目標と169のターゲットからなる包括的なものです。この目標に向けて、心理学者がどのように貢献できるかを考えることが本シンポジウムの目標です。具体的な目標をいくつかとりあげ、関連する研究成果について議論したいと思います。

◆ 第1回

・話題提供者

大沼 進 (北海道大学)
環境保全について考える

安藤 香織 (奈良女子大学)
環境配慮について考える

野波 寛 (関西学院大学)
開発と環境について考える

・指定討論者

有馬 淑子
(京都先端科学大学)

◆ 第2回

・話題提供者

熊谷 智博 (法政大学)
包摂と多様性について考える

池上 知子 (大阪市立大学)
格差の解消について考える

唐沢 穰 (名古屋大学)
差別・偏見の解消について考える

・指定討論者

大淵 憲一
(放送大学宮城学習センター)

